



公益社団法人 兵庫工業会
会 長 大西 功一



兵庫工業会 NEWS

平成27年6月号

発行／公益社団法人 兵庫工業会

No.270

兵庫工業会 新会長 就任挨拶 ——— ■ 巻頭言 ■

6月1日付で、前任の池田会長より引継ぎ、兵庫工業会の会長に推挙され、就任することになりました。身に余る光栄に存じますとともに、経済情勢が好転してきたとはいえ、まだまだ中小企業にとっての状況は厳しいなか、責任の重さを痛感いたしております。

私の職歴は、1971年に、大学で冶金工学を専攻していた関係から神戸製鋼所に入社し、39年間薄鋼板の製造に従事、その後、特殊鋼メーカーの日本高周波鋼業に3年間勤務し、昨年より医療検査機器メーカーのシスメックス社の社外監査役に就任、というものです。従って、ほとんど重厚長大産業しか経験しておらず、工業会の400社を超える会員会社の多くの業界には不案内で、大きな不安を抱いていますが、皆様方のご支援、ご協力を得て、微力ながら工業会の発展に尽くしたいと決意しております。

兵庫工業会は昭和60年7月に地域産業の振興と地域社会の発展ならびに産業技術に関する人材の育成・指導などを目的に設立されました。

グローバル化、高度情報化が一段と進むなか、ものづくり立県である兵庫が元気を取り戻し、さらに飛躍していくためのキーワードは「人づくり」であると考えております。「ひとづくり」を通して「ものづくり」力を高め、「ものづくり」を通して「県づくり」にいささかでも貢献出来る兵庫工業会を目指し、全力で取り組んで参る決意でございます。

特に、今年は、30年目を迎える節目の年となっております。皆様への感謝の意を込めて種々の記念行事を予定しておりますので、ご参加をお待ちしております。

山口 元会長、池田 前会長と2代に渡って継続されてきました当会の基本方針であります「ともに拓く工業会」を私も踏襲していきたいと思っております。中小企業のがんばりがなければ我が国のものづくりはこの先立ち行かなくなる可能性が大いにあります。そのため、県下の中小企業各社のご意見を工業会運営に取り入れ、県や地域、中小企業と大企業、産業界と学界が連携して、地域創生につながっていくような事業展開を進めていきたいと思っております。そのために、工業会のメンバーには積極的に新たなご提案を出していただき、「ともに拓く工業会」の基本方針を実現に、どうか皆様の格別のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。

創立30周年を祝して



公益社団法人兵庫工業会が創立30周年を迎えられました。心からお喜びします。

兵庫工業会は、昭和60年に設立されて以来、兵庫のものづくりを支える人材の育成や、企業間の交流や産学官連携を通じた新産業の創出、技術振興など様々な事業に取り組まれ、本県産業の活性化と地域経済の発展に大きく貢献してこられました。長年にわたるご尽力に改めて感謝します。

あの阪神・淡路大震災から20年の節目を迎え、兵庫づくりの新たなステージを迎えています。今こそ、創造的復興の歩みにより培ってきた兵庫の力を内外に力強く示すとともに、個性や強みを生かした兵庫だからこそその地域創生をめざす時です。

それだけに、地域産業を支える兵庫工業会の役割はより一層重要なものとなります。今後とも、これまで積み重ねた実績と信頼を礎に、兵庫の産業の先頭にたって活躍されることを期待しています。

ともに力をあわせ、産業活力あふれるふるさと兵庫を築いていきましょう。

兵庫工業会の今後ますますのご発展と、会員の皆様のご健勝でのご活躍を心からお祈り申し上げます。

兵庫県知事

井ノ敏三



30周年記念に寄せての ご挨拶

公益社団法人兵庫工業会が創立30周年を迎えられることを、心よりお祝い申し上げます。

貴会が1985年7月に設立されて以来、本市をはじめ兵庫県下の工業振興並びに人材育成にご尽力され、地元経済の活性化と発展に多大なる貢献をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

神戸市では、今年度から戦略産業に位置付けた「航空・宇宙」「医療・健康・福祉」「農業・食糧」「環境・エネルギー」の4分野において市内中小製造業の新規参入を強力に後押しするとともに、設備投資、人材確保、販路開拓など、企業の皆様の幅広いニーズに対応した、きめ細やかな支援に努めてまいります。

兵庫工業会の皆様とも力を合わせ、地域経済のさらなる発展に取り組んでまいりたいと考えておりますので、皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

そして、兵庫工業会と会員企業の皆様が、30周年を迎えられるのを機に、さらなる飛躍を遂げられますことを心より祈念しますとともに、会員各位のますますのご発展とご健勝をお祈りいたします。

神戸市長

久元 喜造

平成27年度 第1回理事会及び 第56回通常総会・新会長就任披露パーティーを開催

平成27年5月11日(月)第1回理事会にて、以下の議案について57名の理事及び2名の監事の全員に賛成表決をいただきました。これにより、審議案件は、原案通り全て承認されました。

- 〈議案〉 第1号議案 平成26年度事業報告について
第2号議案 平成26年度収支決算について
第3号議案 会員の入会について
第4号議案 役員人事について
第5号議案 顧問の委嘱について

第56回通常総会は5月29日(金)に正会員408会員のうち325会員（委任状を含む）の出席のもと、神戸メリケンパークオリエンタルホテルにて開催。池田辰雄会長の開会挨拶に続き、金澤和夫兵庫県副知事に来賓ご挨拶をいただきました。引き続き、以下の議案について審議が行われ、全ての議案が原案通り承認されました。

- 〈議案〉 第1号議案 平成26年度事業報告について
第2号議案 平成26年度収支決算について
第3号議案 役員の改選について

退任役員を紹介

長年にわたり、ご指導ご鞭撻いただきまして、ありがとうございました。

会 長	池 田 辰 雄	(株)神戸製鋼所
副 会 長	和 田 清 美	元(株)アシックス
理 事	大 島 孝	大島金属工業(株)
〃	直 原 美那子	日本ライニング工業(株)
〃	下 村 俊 子	(株)神戸風月堂
〃	中 川 雅 由	第一熱研(株)
〃	見 好 勝	菱井商事(株)
〃	坂 井 満 也	(株)岡崎製作所
〃	藤 本 真 一	(株)コベルコ科研
〃	小 川 真 人	神戸大学大学院
〃	中 林 志 郎	川崎重工業(株)
〃	松 井 優	三ツ星ベルト(株)
監 事	高 橋 勝 彦	カルモ鋳工(株)



池田会長のご挨拶



退任される池田会長・和田副会長

臨時理事会では、会長に大西功一氏を新任、副会長に村元四郎氏、松下秀明氏、金井宏彰氏を再任、馬場宏之氏を新任、専務理事に宮本要氏を再任、常務理事に荒木俊光氏を再任いたしました。

これらを通常総会出席者全員に報告し、満場の拍手をうけ、大西新会長の一期日がスタートいたしました。

これより、第56回通常総会は滞りなく終了いたしました。

(役員名簿は8頁、9頁に掲載)

通常総会終了後、引き続き新会長就任披露パーティーを開催。大西新会長の挨拶で開会し、来賓を代表して井戸敏三兵庫県知事及び久元喜造神戸市長が祝辞を述べられ、浅井神戸商工会議所副会頭の乾杯発声で開宴いたしました。

その後、ご参集いただきました来賓や会員の皆様が新任役員等を囲みながら和やかに歓談し、村元四郎副会長が中締め挨拶を述べ、新会長就任披露パーティーは、大盛況のうちに終了いたしました。



大西新会長のご挨拶



井戸知事のご挨拶



久元市長のご挨拶



浅井副会頭の乾杯ご発声

新 会 長 紹 介



大 西 功 一

会 長

株式会社神戸製鋼所

顧問

新 副 会 長 紹 介



馬 場 宏 之

副会長

ダンロップスポーツ株式会社

相談役

新 役 員 紹 介



高 橋 勝 彦

理 事

カルモ鑄工株式会社

常任顧問



平 松 幹 雄

理 事

日本ライニング工業株式会社

代表取締役社長



苗 村 康 夫

理 事

株式会社岡崎製作所

常務執行役員 管理本部長



岡 村 武 和

理 事

株式会社OKAMURA

代表取締役社長



豊嶋 義富
理 事

菱井商事株式会社
代表取締役社長



大島 孝一郎
理 事

大島金属工業株式会社
代表取締役



今北 毅
理 事

株式会社コベルコ科研
取締役



池田 浩
理 事

三ツ星ベルト株式会社
執行役員 社長室長



富山 明男
理 事

神戸大学大学院
工学研究科長



橋本 幸亮
理 事

株式会社アシックス
代表取締役 常務執行役員



岡本 望
理 事

川崎重工業株式会社
理事 総務本部長



中川 啓之
理 事

第一熱研株式会社
代表取締役社長



阿倉 和哉
理 事

株式会社兵庫精密工業所
代表取締役社長



下村 治生
理 事

株式会社神戸風月堂
代表取締役社長



山本 博和
監 事

株式会社山本電機製作所
代表取締役社長

公益社団法人 兵庫工業会 役員名簿

平成27年6月1日以降の新体制

役職名	氏 名	会 社 名	役 職
会 長	大 西 功 一	株式会社 神戸製鋼所	(顧問)
副 会 長	村 元 四 郎	株式会社 村元工作所	(特別顧問)
〃	松 下 秀 明	グローリー株式会社	(専務執行役員)
〃	金 井 宏 彰	金井重要工業株式会社	(代表取締役社長)
〃	馬 場 宏 之	ダンロップスポーツ株式会社	(相談役)
専務理事	宮 本 要	公益社団法人 兵庫工業会	(専務理事)
常務理事	荒 木 俊 光	公益社団法人 兵庫工業会	(常務理事 事務局長)
理 事	岡 田 保	株式会社 岡田金属工業所	(代表取締役社長)
〃	森 田 文 藏	青木鉄工株式会社	(代表取締役会長)
〃	出 井 勝	滝川工業株式会社	(顧問)
〃	浅 井 昌 信	ヒガシマル醤油株式会社	(代表取締役会長)
〃	下土井 康 晴	明興産業株式会社	(代表取締役会長)
〃	友 藤 公 雄	兵神機械工業株式会社	(取締役社長)
〃	近 藤 幸 雄	大王電機株式会社	(代表取締役会長&CEO)
〃	川 旗 邦 彦	株式会社 旭工業所	(取締役相談役)
〃	番 所 利 行	株式会社 洲本整備機製作所	(代表取締役社長)
〃	宮 内 康 伴	福伸電機株式会社	(代表取締役社長)
〃	阿比野 剛	阿比野建設株式会社	(代表取締役社長)
〃	頃 安 雅 樹	極東産機株式会社	(代表取締役社長)
〃	上 月 靖 史	上月ウディックス株式会社	(代表取締役)
〃	蔦 明 憲	蔦機械金属株式会社	(代表取締役会長)
〃	降 矢 寿 民	フルヤ工業株式会社	(代表取締役社長)
〃	大 庫 良 一	オークラ輸送機株式会社	(代表取締役社長)
〃	黒 田 直 樹	三相電機株式会社	(代表取締役社長)
〃	井 上 直 也	新光電機株式会社	(代表取締役社長)
〃	吉 田 修	音羽電機工業株式会社	(取締役社長)
〃	太 田 勲	兵庫県立大学	(理事 兼 副学長)
〃	荻 俊 秀	株式会社 IHI 相生事業所	(相生事業所長)
〃	黒 田 次 郎	姫路信用金庫	(専務理事)
〃	神 門 登	ハニー化成株式会社	(専務取締役)
〃	安 藤 隆	株式会社 布引製作所	(代表取締役社長)

役職名	氏 名	会 社 名	役 職
〃	石 田 和 史	株 式 会 社 誠 工 社	(代表取締役社長)
〃	矮 松 一 磨	古 野 電 気 株 式 会 社	(取締役営業企画部長) (衛星通信部長)
〃	小 松 俊 彦	住友ゴム工業株式会社	(執行役員 人事総務部長)
〃	三 津 千久磨	ミ ッ 精 機 株 式 会 社	(代表取締役社長)
〃	小 林 英 明	兵庫県中小企業団体中央会	(専 務 理 事)
〃	眞 下 忠	神 港 精 機 株 式 会 社	(代表取締役社長)
〃	上 村 勝 敏	株 式 会 社 ト ー ホ ー	(代表取締役社長)
〃	林 正 好	シスメックス株式会社	(取締役専務執行役員)
〃	高 馬 勇	株 式 会 社 タ ク ミ ナ	(品質保証部長)
〃	櫻 井 一 雅	白 鶴 酒 造 株 式 会 社	(執行役員生産本部長)
〃	小 野 桂 一	三菱電機株式会社 神戸製作所	(総 務 部 長)
〃	吉 見 隆	株式会社 三井住友銀行	(公共・金融法人部部長)
〃	笠 原 亘	大 阪 ガ ス 株 式 会 社	(理事 兵庫地域総支配人)
〃	竹 中 朗	三菱重工業株式会社 神戸造船所	(所 長 代 理)
〃	森 地 高 文	株式会社 神戸製鋼所	(専 務 執 行 役 員)
〃	笹 川 敬 祐	関西電力株式会社 神戸支店	(執行役員 神戸支店長)
〃	高 橋 勝 彦	カルモ鋳工株式会社	(常 任 顧 問)
〃	平 松 幹 雄	日本ライニング工業株式会社	(代表取締役社長)
〃	苗 村 康 夫	株式会社 岡崎製作所	(常務執行役員 管理本部長)
〃	岡 村 武 和	株式会社 OKAMURA	(代表取締役社長)
〃	豊 嶋 義 富	菱 井 商 事 株 式 会 社	(代表取締役社長)
〃	大 島 孝一郎	大島金属工業株式会社	(代 表 取 締 役)
〃	今 北 毅	株式会社 コベルコ科研	(取締役 総務部・ 企画管理部・監査室担当)
〃	池 田 浩	三ツ星ベルト株式会社	(執行役員 社長室長)
〃	富 山 明 男	神 戸 大 学 大 学 院	(工 学 研 究 科 長)
〃	橋 本 幸 亮	株式会社 アシックス	(代表取締役 常務執行役員)
〃	岡 本 望	川崎重工業株式会社	(理事 総務本部長)
〃	中 川 啓 之	第 一 熱 研 株 式 会 社	(代表取締役社長)
〃	阿 倉 和 哉	株式会社 兵庫精密工業所	(代表取締役社長)
〃	下 村 治 生	株式会社 神戸風月堂	(代表取締役社長)
監 事	畠 田 真 一	旭 光 電 機 株 式 会 社	(代表取締役社長)
〃	山 本 博 和	株式会社 山本電機製作所	(代表取締役社長)

兵庫工業会

第2回フレッシュマン産業論文コンクール

最優秀賞
論文

論題：成長する社会人となるために

株式会社 タクミナ 東田直也

私が社会に出て早くも2年の時が過ぎようとしている。今回このフレッシュマン産業論文に応募することは、毎日の忙しさに流されそうになる自分をここでもう一度見直す良い機会になった。

7年前の2007年、大学に入学したばかりの頃、私達学生にある教授が読書感想文と自分の目標を書く宿題を出したことがある。私は、2009年のNHKの大河ドラマに決定した火坂雅志著「天地人」より感想と目標を書いたが、その中で次のような決意を書いた。

教えられた事は、

- 1.人の生涯とは人の一生がその人だけで終わるのではなく、その人の生き方が多くの人の生き方に影響し、絡み合っていること
- 2.動かされることのない信念を持った人の強さ
- 3.知略の重要性

そして私の目標は、

- ①人との交流を大切にし多くの人と交わり、その人々を受け入れる。これにより自らが成長する糧とすること
- ②直江兼統の「天地人」のように自分の心棒になる何かを見つけ出す必要があること
- ③思考する方法を大学で身につけることにより知略にあふれた人物に成長すること

であった。

思い返してみるとこのとき教えられたことや目標は、今も本当に大事な事であると感じている。

私が会社に入社した頃は会社の組織の意味さえ理解できていなかったのではないと思う。先輩方がてきぱきと仕事をこなされていたり、また連絡を取られていたり、タイミングよくメールを確認されている姿に自分には無理なことだと客観的に自分の事を悲観したことがあった。試験準備や報告書などまだまだ知識不足で仕事の流れも分からず戸惑っている私に先輩方が声をかけて下さったことで、徐々に仕事も覚えることができた。

この経験は私に会社という組織を教えてくれた。まさに人との交流を大切にし多くの人と交わり、その人々を受け入れる。これにより、自らが成長する糧とすることを入社1年目で体験した。このように社会人となってから、人との交流の大切さや人々を受け入れることの大切さを改めて感じ、自らの成長の糧とすることを強く意識しはじめた。

また人は、他人から学びとったものに基づいて行動している。しかしながら、それが自らのためであると意識し、習慣づけられている人は少ないと思う。ほとんどの人は好奇心や興味の対象であるためにそうしている。これでは将来役に立つ知識を増やすことはできない。したがって、何かを学びとってやろうという気持ちですべての人に接することで人間的にも成長することができ、かつ技術的にも成長することができると考えている。

このように人から得るものは非常に多い。ゆえに重要となるのは、人と多く交流し、様々な経験を積み重ねてゆくことである。そうすることで自らの視野も広がり、自分のことだけではなく、相手のこと、さらには会社のことまで考えられるようになると思う。

現在、タクミナでは2013年度より新しく用途開発課が設置された。そこでは精密ポンプメーカー、ならびに技術者として、お客様と一緒に困りごとにチャレンジし、問題解決に取り組んでいる。その際には、お客様の現状や目的・目標などをヒヤリングする。そこでは、お客様とのコミュニケーションが大切であると同時に、その背景や意図を想像することも大切である。しかしながらお客様の中には、まだ秘密にしておかなければならず、話すことができない事柄を持っていることがある。そのようなお客様に対しても、「この人の言いたいことはこういうことなのだ」と捉える理解力が

必要と思う。この理解力というのは、リーダーシップを発揮する際にも重要であると思う。リーダーシップがある人は、自分だけでなく相手の考えていることを理解することに優れている人ともいえる。これは、様々な人たちと接してきた経験があるからこそ発揮されるものである。

経験という意味では、タクミナにおいて、海外への語学研修やeラーニングなど、海外を意識した取り組みがなされている。世界に出ていくことで価値観が異なる人との交流することができる。このように、海外の方々と接することで自分の枠を超える経験をし、それを積み重ねることで、人間的に成長できる。この機会と、その環境が整っているため、これを活かすほかないと強く思う。

さて、今年のHNKの大河ドラマは姫路出身の「黒田官兵衛」である。この主人公も人の和を大事にし、義の人として描かれ、また知略家軍師として描かれている。

今年になりクレーム関係の仕事をした時には、問題解決へのアプローチ（知略）の重要性を痛感した。クレーム対応では、その発生原因となる要因について即座に究明し、対策をしなければならない。その際には、何をどのようにするか、さらにその対策にかかるコスト、手間、納期など様々な事柄について検討する必要がある。クレーム対応されている先輩方を見ていると、知識や経験に裏付けられた対策を素早く、そして的確に行われていたのが印象的であった。そして、今の自分には、まだまだ知識も経験も足らず、問題解決に対する引き出しの少なさや知識の少なさを思い知った。

また、クレーム対応において強く意識したことがあった。それは、企業理念や品質目標の中でもあるように、「常にお客様の立場で物事を考える」ということである。私はこれを心棒としたい。クレーム対応ではもちろんのこと、これは研究開発を進めるうえでも重要なことと考えているからである。「しんぼう」にも「心棒」「辛抱」「深謀」がある。つらいことや苦しいことを我慢することという「辛抱」、深く考えを巡らせ、長期的な視点を持ち綿密な計画を立てるという「深謀遠慮」である。しかしながら、それらすべてを確実に成すためには、自分の中にしっかりとした「心棒」を持つことが重要であると思う。

これらの体験を通して自分の仕事のやりがいが少しわかってきたような気がするのと、今はうすぼんやりだが、私の所属する要素技術研究課や総合研究開発センター、また、会社全体として社会や顧客に対して誠意（義）ある態度や会社としての心棒、戦略が理解できるようになりつつある。そしてその中で私自身、活躍の場を求めていくと共に社会人として成長したいと思う。

第2回フレッシュマン産業論文コンクール受賞者一覧

◆最優秀賞◆

(株)タクミナ 東田 直也さん

◆優秀賞◆

(株)日海プラント機工 田原 拓洋さん

◆優良賞◆

金井重要工業(株) 新地 将大さん
金井重要工業(株) 傳谷 真司さん

◆努力賞◆

(株)タクミナ 岩田 大樹さん
金井重要工業(株) 大島 繁昭さん



新地 将大
(金井重要工業株)

傳谷 真司
(金井重要工業株)

岩田 大樹
(株)タクミナ

大島 繁昭
(金井重要工業株)

東田 直也
(株)タクミナ

池田会長

金井副会長

田原 拓洋
(株)日海プラント機工

平成27年度「創意工夫功労者賞」伝達式

4月16日(木) 兵庫県民会館におきまして平成27年度科学技術分野の文部科学大臣表彰「創意工夫功労者賞」伝達式が行われ、下記の方々が受賞されました。

オークラ輸送機(株)	松尾 信男	(株)神戸製鋼所 汎用圧縮機工場	村上 公浩
川崎重工業(株) 明石工場	長谷 秀治	(株)神戸製鋼所 汎用圧縮機工場	西宮 直人
川崎重工業(株) 機械ビジネスセンター	若竹 義樹	(株)神戸製鋼所 加古川製鉄所	沖貞 昭吾
キャタピラージャパン(株) 明石事業所	田中 学	新日鐵住金(株) 尼崎製造所	中島 宏
(株)神戸製鋼所 技術開発本部	北村 力	新日鐵住金(株) 技術開発本部	大野 沙穂
(株)神戸製鋼所 技術開発本部	藤尾 良平	新日鐵住金(株) 技術開発本部	原野 真一
(株)神戸製鋼所 技術開発本部	山田 弘徳	三菱日立パワーシステムズ(株)	由良 哲也
(株)神戸製鋼所 神戸製鉄所	高倉 和弘	三菱重工業(株) 高砂製作所	中島 秀之
(株)神戸製鋼所 神戸製鉄所	一ノ瀬宏貴	三菱重工業(株) 高砂製作所	山下 哲央
以上18名 敬称略			

表彰された皆様は「平成26年度 職域における創意工夫者表彰」知事賞受賞者の中から特に優秀な方々を兵庫県が推薦し、このたび受賞の運びとなりました。おめでとうございます。

会 員 動 向

新入会員		
企 業 名	代 表 者 名	所 在 地
(株)出雲建設	代表取締役社長 出雲 津芳	淡路市
出光工業(株)	代表取締役 高橋 昌弘	赤穂市
是枝特許事務所	所長 是枝 洋介	神戸市
ダンロップスポーツ(株)	代表取締役社長 木滑 和生	神戸市
日成化学鍍金工業(株)	代表取締役 中島 秀和	尼崎市
代表登録者変更		
企 業 名	新 代 表 者	旧 代 表 者
エスベックテストシステム(株)	代表取締役社長 水野 浩三	福本 博道

イベント情報

月 日	事業名・内容	場 所
6月23日(火)	ベトナム総領事館との交流会	鴻華園下山手店
7月6日(月)	ミャンマービジネス実践セミナー	神商ホール
7月14日(火)	ITセミナー	神戸市産業振興センター
8月10日(月)	兵庫工業会30周年記念サマーパーティー	神戸ポートピアホテル
8月31日(月)	夏のビッグイベント	神戸ポートピアホテル

夏期休業のお知らせ

本会では、誠に勝手ながら8月12日(水)～8月16日(日)まで、夏期休業といたします。(8月17日(月)より通常業務)。この間何かとご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

ご入会・セミナー・講演会・研修などのお問合せ・お申込みは…



公益社団法人
兵庫工業会

本 部
神戸事務所

〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター 3 階
TEL 078(361)5667 / FAX 078(371)4336 / Eメールアドレス mail@hyogo-ia.or.jp
URL <http://www.hyogo-ia.or.jp>

姫路事務所

〒670-0962 姫路市南駅前町123 じばさんびる 3 階
TEL 079(223)8230 / FAX 079(223)8231